

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)

【公表番号】特表 2005-516508 (P2005-516508A)
 【公表日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-021
 【出願番号】特願 2003-564758 (P2003-564758)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 3/52 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 3/52 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 20 年 10 月 10 日 (2008.10.10)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 9
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 9】

多肢選択は、B S のペアを i f 文またはループの中に追加することによってなされ、
 (決定的選択) または | (非決定的選択) によって分離され、ここで B はブール式であり、S はステートメントである。よって [B 1 S 1 B 2 S 2] は、もし式 B 1 が真なら S 1 を実行し、またはもし式 B 2 が真なら S 2 を実行することを意味する。もし B 1 も B 2 も真でないなら、このステートメントはいずれかがそうなるまで待つ (i f - e l s e 構文とは異なり) 。略記法 * [s] は、ステートメント S を無限に繰り返すことを意味する。略記法 [B] は、ブール式 B が真になるのを待つことを意味する。ローカル変数は、整数であるとみなされ、 $x := y + 1$ のような整数式に代入されえる。セミコロンは、ステートメントを厳密な順序付けで分離する。コンマは、ステートメントを順序付けなしで分離する。疑問符および感嘆符は、それぞれチャネルから受け取り、チャネルに送ることを表すのに用いられる。よって * [A ? x ; y := x + 1 ; B ! y] は、整数 x をチャネル A から受け取り、それから整数 y に式 $x + 1$ を代入し、それから y をチャネル B に送り、それから永久に繰り返すことを意味する。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 9
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 9】

本発明のさまざまな実施形態によれば、P から Q のクロスバー 4 0 0 は、図 4 に示されるように P Q ウェイのスプリットおよび Q P ウェイのマージから構築されえる。P スプリットバスの i 番目、すなわち split[i] は、プログラム * [S[i] ? j , L[i] ? x ; V [i , j] ! x] を走らせる。Q マージバスの j 番目、すなわち merge[j] は、プログラム * [M[j] ? i ; V [i , j] ? x ; R[j] ! x] を走らせる。本発明のさまざまな実施形態と共に利用されえる第 1 非同期クロスバー設計によれば、V [i , j] は、スプリットデータ出力およびマージデータ入力の間の中間データチャネルを表現する。後述の本発明の具体的な実施形態によれば、これらチャネルは、除去されている。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 6 8

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 8 】

ある実施形態によれば、リクエスト間で調停する P ウェイアービタは、先のセクションの combine のようにバイナリツリーとして構築される。バイナリツリーのそれぞれのステージは、前のステージの左（例えば低いインデックス（lower indices））または右（例えば高いインデックス（higher indices））のいずれかの側からリクエストを受け取る。それは、勝者の M S B について 1of2 チャンネルを merge のサイドツリーへ出力し、これは combine のように勝者のインデックスを累積する。それは、ツリーの次のステージをリクエストするために 1of1 を送る。図 1 6 は 8 ウェイアービタのためのツリー構造 1 6 0 0 を示す。